

北九州市立大学における公認心理師 科目読替表

大学における必要な科目

掲載日 2020/6/5

分類	要件	大学（※）における必要な科目名	本学における開講科目 (2013～2017 年度入学)	本学における開講科目 (2007～2012 年度入学)	本学における開講科目 (2000～2006 年度入学)	含まれる事項
		公認心理士の職責				
I	1～5のうち 3科目以上 履修	1 心理学概論	心理学概論、基礎心理学	心理学概論、基礎心理学	心理学概論、実験心理学概論	①心理学の成り立ち ②人の心の基本的な仕組み及び働き
		2 臨床心理学概論	臨床心理学	臨床心理学	臨床心理学	①臨床心理学の成り立ち ②臨床心理学の代表的な理論
		3 心理学研究法	心理学研究法	心理学研究法	心理学研究法、心理測定	①心理学における実証的研究法（量的研究及び質的研究） ②データを用いた実証的な思考方法 ③研究における倫理
		4 心理学統計法	心理統計	心理統計	心理統計	①心理学で用いられる統計手法 ②統計に関する基礎的な知識
		5 心理学実験	心理学実験実習Ⅰ	心理学実験実習Ⅰ	心理学実験	①実験の計画立案 ②統計に関する基礎的な知識
II	6～12のうち 4科目以上 履修	6 知覚・認知心理学	認知心理学	認知心理学	知覚心理学、認知心理学	①人の感覚・知覚等の機序及びその障害 ②人の認知・思考等の機序及びその障害
		7 学習・言語心理学	学習心理学	学習心理学	学習心理学	①人の行動が変化する過程 ②言語の習得における機序
		8 感情・人格心理学	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	①感情に関する理論及び感情喚起の機序 ②感情が行動に及ぼす影響 ③人格の概念及び形成過程 ④人格の類型、特性等
		9 神経・生理心理学	生理心理学	生理心理学	生理心理学	①脳神経系の構造及び機能 ②記憶、感情等の生理学的反応の機序 ③高次脳機能障害の概要
		10 社会・集団・家族心理学	社会心理学、対人心理学、コミュニケーション論	社会心理学、対人心理学、コミュニケーション論	社会心理学、対人心理学、コミュニケーション論	①対人関係並びに集団における人の意識及び行動についての心の過程 ②人の態度及び行動 ③家族、集団及び文化が個人に及ぼす影響

		11	発達心理学	発達心理学	発達心理学	発達心理学	①認知機能の発達及び感情・社会性の発達 ②自己と他者の関係の在り方と心理的発達 ③誕生から死に至るまでの生涯における心身の発達 ④発達障害等非定型発達についての基礎的な知識及び考え方 ⑤高齢者の心理
		12	障害者・障害児心理学	障害児の心理と指導	障害児の心理と指導	障害者（児）心理学	①身体障害、知的障害及び精神障害の概要 ②障害者・障害児の心理社会的課題及び必要な支援
III	13、14、23 及び24 のうち 2科目以上 履修	13	心理的アセスメント	カウンセリング論、心理学実験 実習II	カウンセリング論、心理学実験 実習II	カウンセリング論、心理学実習	①心理的アセスメントの目的及び倫理 ②心理的アセスメントの観点及び展開 ③心理的アセスメントの方法（観察、面接及び心理検査） ④適切な記録及び報告
		14	心理学的支援法	心理療法論	心理療法論	心理療法論	①代表的な心理療法並びにカウンセリングの歴史、概念、意義、適 応及び限界 ②訪問による支援や地域支援の意義 ③良好な人間関係を築くためのコミュニケーションの方法 ④プライバシーへの配慮 ⑤心理に関する支援を要する者の関係者に対する支援 ⑥心の健康教育
IV	15～19 のうち 2科目以上 履修	15	健康・医療心理学	メンタルヘルスⅠ、メンタルヘル スⅡ、健康科学	メンタルヘルスⅠ、メンタルヘル スⅡ、健康科学、医学一般2	健康科学、医学一般2	①ストレスと心身の疾病との関係 ②医療現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③保健活動が行われている現場における心理社会的課題及び必要な 支援 ④災害時等に必要な心理に関する支援
		16	福祉心理学	現代社会と福祉2 児童や家庭に対する支援と児 童・家庭福祉制度	現代社会と福祉2 児童や家庭に対する支援と児 童・家庭福祉制度 児童福祉論、社会福祉原論2、 児童福祉論2	福祉心理学、社会福祉原論2、 児童福祉論2	①福祉現場において生じる問題及びその背景 ②福祉現場における心理社会的課題及び必要な支援 ③虐待についての基本的知識
		17	教育・学校心理学	教育心理学、教育相談	教育心理学、教育相談	教育心理学、臨床教育指導論	①教育現場において生じる問題及びその背景 ②教育現場における心理社会的課題及び必要な支援
		18	司法・犯罪心理学	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	①犯罪・非行、犯罪被害及び家事事件についての基本的知識 ②司法・犯罪分野における問題に対して必要な心理に関する支援
		19	産業・組織心理学	(該当なし)	(該当なし)	産業組織心理学	①職場における問題（キャリア形成に関することを含む。）に対し て必要な心理に関する支援 ②組織における人の行動

V	20、21のうち 1科目以上履修	20	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病	人体の構造と機能及び疾病 医学一般 1	医学一般 1	①心身機能と身体構造及び様々な疾病や障害 ②がん、難病等の心理に関する支援が必要な主な疾病
		21	精神疾患とその治療	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	①精神疾患総論（代表的な精神疾患についての成因、症状、診断法、治療法、経過、本人や家族への支援を含む。） ②向精神薬をはじめとする薬剤による心身の変化 ③医療機関との連携
/		22	関係行政論	/	/	/	①保健医療分野に関する制度 ②福祉分野に関する制度 ③教育分野に関する制度 ④司法・犯罪分野に関する制度 ⑤産業・労働分野に関する制度
III	上述	23	心理演習	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、具体的な場面を想定した役割演技（ロールプレイング）を行い、かつ、事例検討で取り上げること。 (ア)心理に関する支援を要する者等に関する以下の知識及び技能の修得 (1) コミュニケーション (2) 心理検査 (3) 心理面接 (4) 地域支援等 (イ)心理に関する支援を要する者等の理解とニーズの把握及び支援計画の作成 (ウ)心理に関する支援を要する者の現実生活を視野に入れたチームアプローチ (エ)多職種連携及び地域連携
		24	心理実習（80時間以上）	(該当なし)	(該当なし)	(該当なし)	知識及び技能の基本的な水準の修得を目的とし、次に掲げる事項について、保健医療、福祉、教育、司法・犯罪、産業・労働等の分野の施設において見学等による実習を行うこと。 (ア) 心理に関する支援を要する者へのチームアプローチ (イ) 多職種連携及び地域連携

(注1) I（1～5）については、3科目以上を履修する。

(注2) II（6～12）については、4科目以上を履修する。

(注3) III（13、14、23及び24）については、2科目以上を履修する。ただし、24については、施設の分野及び時間数を問わない。

(注4) IV（15～19）については、2科目以上を履修する。ただし、15をV（20又は21）として履修した場合は、16から19までのうち2科目以上を履修する。

(注5) V（20又は21）については、1科目以上を履修する。なお、15を履修した場合は、20又は21を履修したこととみなす。

(注6) 一つの必要な科目に対応しているとした開講科目を、他の必要な科目に対応する科目として記入することはできない。

(※) 専修学校の専門課程（学校教育法施行規則第155条第1項第5号に規定する文部科学大臣が指定するものに限る。）も対象とする。